

発 言 通 告 書

令和 7 年 6 月 17 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 田 中 エリナ

次のとおり通告します。

発言順位	1 2	受領日時	6 月 17 日 午前・午後 11 時 55 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 70 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	城山の土砂災害について	(1)本市の管理に瑕疵があったとは言えないと判断した際の、意思決定プロセスの妥当性を問う。 (2)この判断の前提として、本市が管理体制そのものを検証していない点の妥当性を問う。 (3)国家賠償法において重要な予見可能性について、これまでの経緯や知見を踏まえた上で、本市が予測不能だったと判断した根拠と、その妥当性を問う。 (4)発災後からこれまでの本市の住民対応が、本当に寄り添ったものであったと認識しているのかを問う。 また、今後さらに寄り添った対応が必要と考えるが、その必要性について本市の所見を問う。
2	政策方針変更時の情報共有について	時代の変化が速くなる中、今後増えると予見される政策の方針変更への対応として、丁寧な情報共有と説明責任の在り方について本市の認識を問う。
3	稼ぐ地域づくりについて	(1)ふるさと納税において、過去に寄附額が大幅に増加した要因及び昨年度の伸び率の鈍化についての分析を踏まえ、今後さらなる寄附額増加に向けた本市の施策を問う。 (2)ふるさと納税寄附額増加に向け、「ふるさと納税 3.0」の導入について本市の考えを問う。 (3)松山中央商店街に期待される役割や機能を、本市はどのように捉えているか。 また、再生に向けた取組の進捗を問う。
4	松山市駅前広場の整備について	(1)松山市駅前広場の整備について、市民の声をどのように集め、どのように反映してきたのか。

